

北興化学工業株式会社

2022年11月期 第3四半期
決算補足説明資料

2022年10月11日

東証スタンダード 証券コード4992

I 2022年11月期 第3四半期決算 ハイライト

< 1. 連結業績 >

(単位：百万円)

▶ 前年同期比増収・増益決算

- ◆売上高は、37,365百万円、前年同期比4,129百万円(12.4%)の増収となりました。
- ◆利益面では、営業利益は、4,656百万円、前年同期比1,863百万円(66.7%)の増加、経常利益は、5,426百万円、前年同期比2,091百万円(62.7%)の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,819百万円、前年同期比1,385百万円(56.9%)の増加となりました。

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年同期比	増減率
売上高	33,236	37,365	+4,129	+12.4%
売上原価	24,830	27,427	+2,596	+10.5%
売上総利益 (売上高比)	8,406 (25.3%)	9,939 (26.6%)	+1,533 (+1.3P)	+18.2%
販売費及び一般管理費	5,613	5,283	▲330	▲5.9%
営業利益 (売上高比)	2,793 (8.4%)	4,656 (12.5%)	+1,863 (+4.1P)	+66.7%
営業外収支	542	770	+228	+42.1%
経常利益 (売上高比)	3,335 (10.0%)	5,426 (14.5%)	+2,091 (+4.5P)	+62.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比)	2,435 (7.3%)	3,819 (10.2%)	+1,385 (+2.9P)	+56.9%



< 1. 連結業績 ①概況 >

➤ 売上高

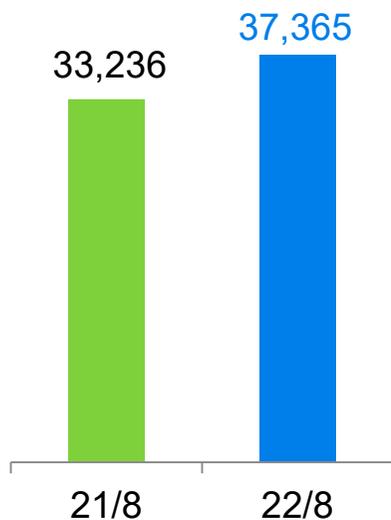
- ◆農薬事業は、国内販売における園芸剤の受注増、海外販売におけるアジア、中南米および米国向けの需要堅調により**増収**
- ◆ファインケミカル事業は、樹脂や電子材料分野の販売が好調に推移し、原材料価格上昇を踏まえた価格改定も寄与し**増収**、中国子会社の販売好調、原材料価格上昇を踏まえた価格改定も寄与
- ◆繊維資材事業は、原材料価格や諸コストの上昇に適切に対応し**増収**

➤ 営業利益・経常利益・当期純利益

コロナ禍からの営業活動正常化に伴う経費や燃料価格上昇に伴う運賃・倉敷料等の増加が見られたものの、増収や円安進行に伴う為替差益の計上等により吸収し**増益**

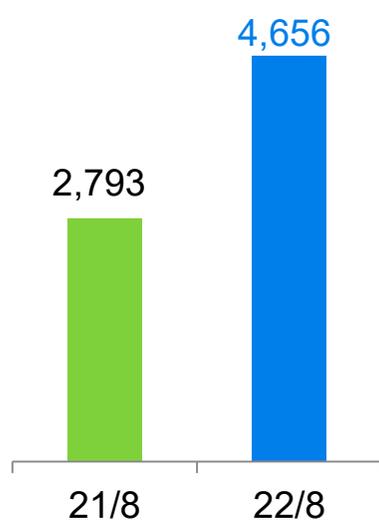
売上高

<前年同期比>
+4,129(+12.4%)



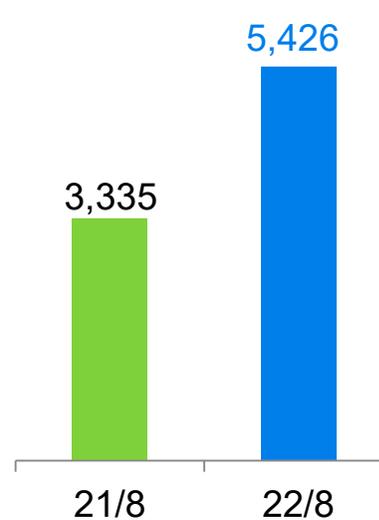
営業利益

<前年同期比>
+1,863(+66.7%)



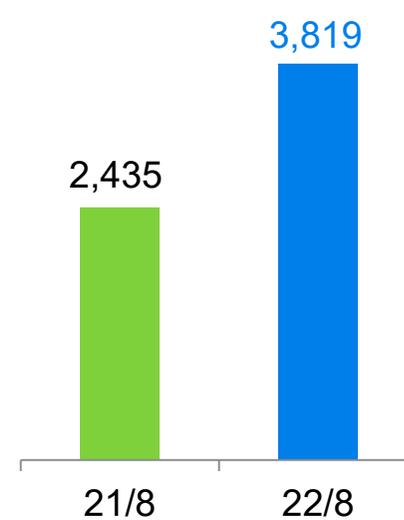
経常利益

<前年同期比>
+2,091(+62.7%)



当期純利益 (単位:百万円)

<前年同期比>
+1,385(56.9%)



< 1. 連結業績 ②増減要因 >

①農業事業 +1,064百万円

主な要因は、国内販売+65百万円、海外輸出+1,014百万円(以上単体)

②ファインケミカル事業 +3,027百万円

主な要因は、樹脂分野+1,542百万円、電子材料分野+600百万円(以上単体)

③繊維資材事業 +41百万円

④その他 ▲3百万円

①農業事業 +556百万円

コロナ禍からの営業活動正常化に伴い経費は増加したものの、海外輸出の伸長もあり増益

②ファインケミカル事業 +1,305百万円

運賃・倉敷料等の経費は増加したものの、価格改定を含む売上高の増加、中国子会社の好調もあり増益

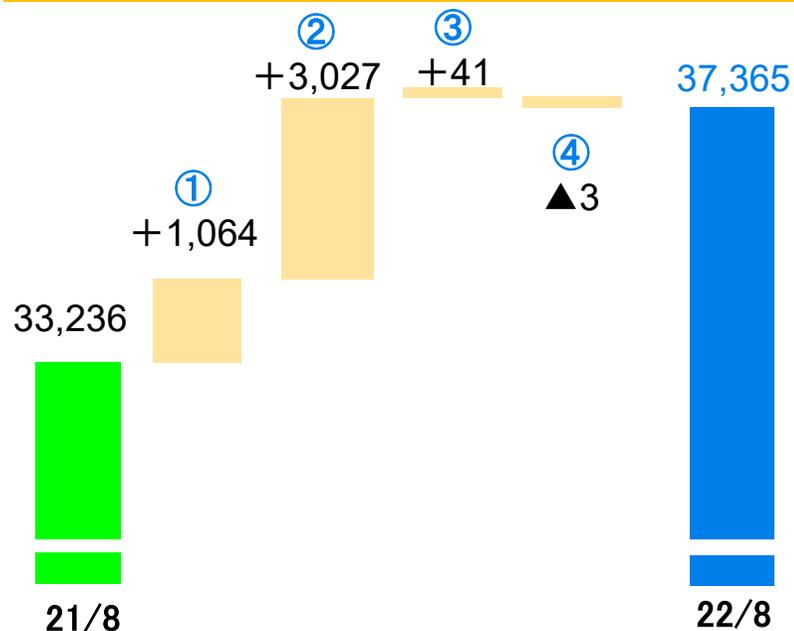
③繊維資材事業 +2百万円

売上高の増加により増益

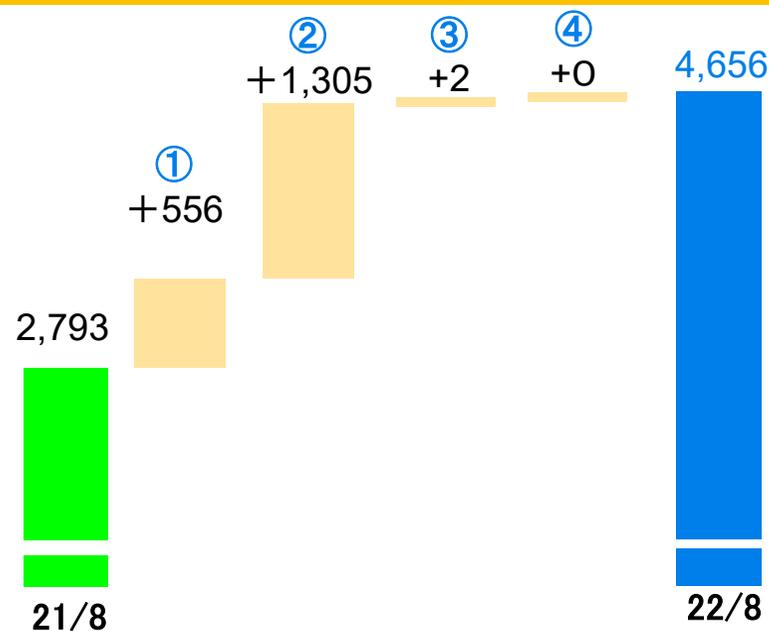
④その他 +0百万円

(単位:百万円)

売上高



営業利益



<2. 連結業績: 収益認識基準の影響 >

▶ 売上高で▲1,234百万円、営業利益で▲191百万円の影響

◆ 農薬事業

売上高は、主に販売促進費を販管費への計上から売上高からの控除に変更したため、▲665百万円減少した。但し、営業利益には影響なし。

◆ ファインケミカル事業

売上高および営業利益は、輸出取引の出荷基準から着荷基準への変更や有償支給取引の売上計上基準の変更により、売上高で▲569百万円、営業利益で▲191百万円の減少。なお減少対象輸出取引分は着荷後に売上高および営業利益に計上される。

(単位：百万円)

	2022年度 第3四半期 【旧基準】	影響額			2022年度 第3四半期 【新基準】
		農薬事業	ファインケミカル事業	計	
売上高	38,599	▲665	▲569	▲1,234	37,365
売上原価	27,829	▲35	▲368	▲402	27,427
売上総利益	10,770	▲630	▲201	▲832	9,939
販売費及び 一般管理費	5,923	▲630	▲11	▲641	5,283
営業利益	4,847	—	▲191	▲191	4,656

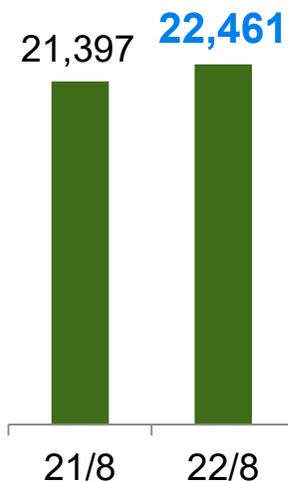


<3. 連結業績:セグメント別>

(単位:百万円)

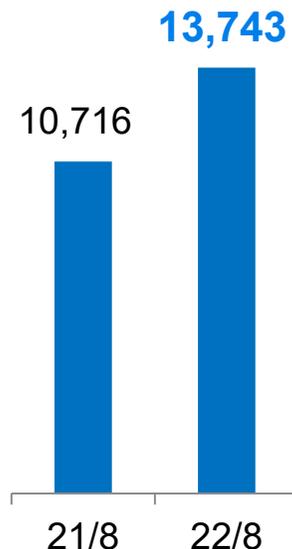
売上高

【農薬事業】



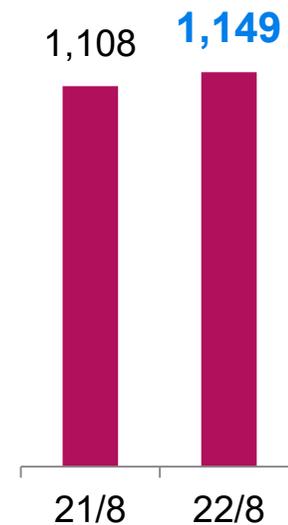
<前年同期比>
+1,064
(+5.0%)

【ファインケミカル事業】



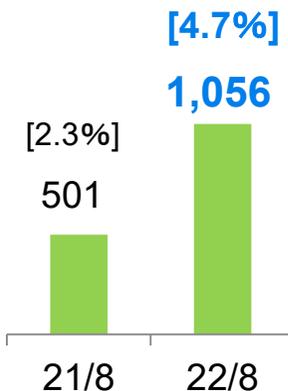
<前年同期比>
+3,027
(+28.2%)

【繊維資材事業】

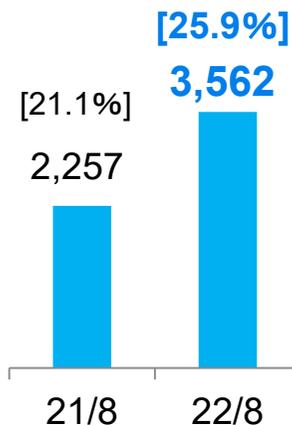


<前年同期比>
+41
(+3.7%)

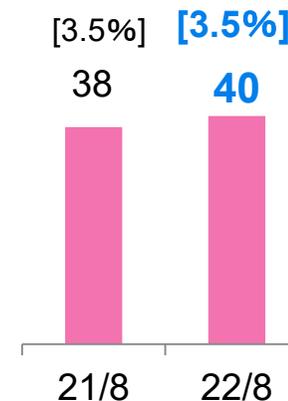
営業利益



<前年同期比>
+556
(+110.9%)



<前年同期比>
+1,305
(+57.8%)



<前年同期比>
+2
(+5.1%)

※営業利益額上方のカッコ内の%表示は、営業利益率



<3. 連結業績:セグメント別 ①農薬事業トピックス>

➤ 国内販売

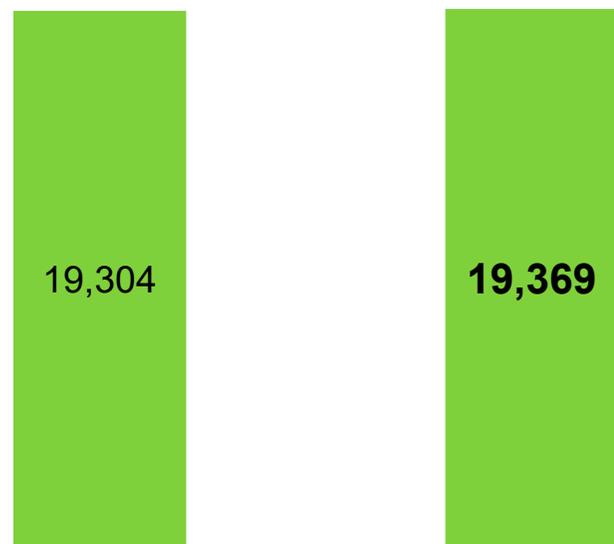
国内販売における園芸剤の受注増等により**増収**（なお、収益認識基準の影響による2022年度の売上高からの控除額は、665百万円）

➤ 海外輸出

アジア向け、中南米（メキシコ等）および米国向けの出荷増等により**増収**

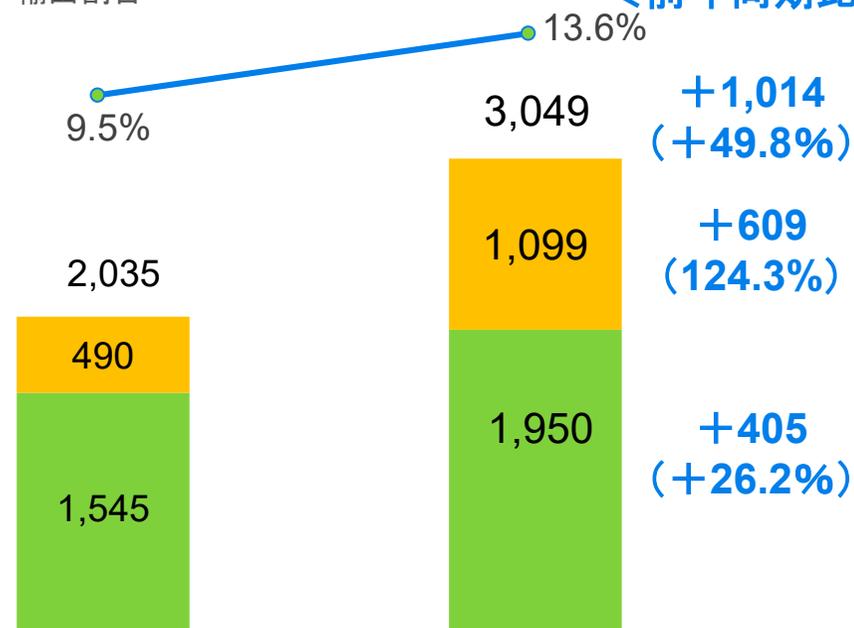
国内販売(単体)

■ 国内販売



海外輸出(単体) (単位:百万円)

● 輸出割合 ■ アジア ■ その他



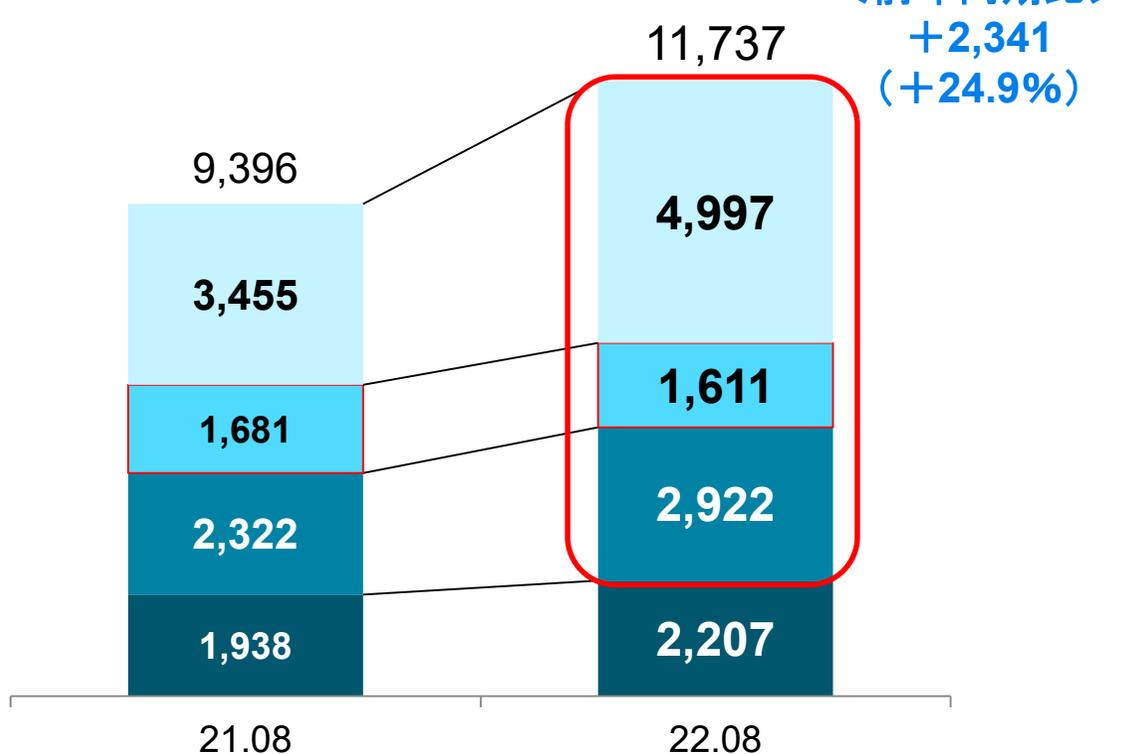
<3. 連結業績:セグメント別 ②ファインケミカル事業トピックス>

➤ 樹脂分野や電子材料分野の販売が好調に推移、原材料価格上昇を踏まえた価格改定も増収に寄与した

分野別(単体)

(単位:百万円)

■樹脂 ■医農薬 ■電子材料 ■その他



<主な前年同期比増減内容>

◆樹脂分野: +1,542百万円 (+44.6%)

- ・石化用触媒: +427
- ・その他樹脂原料: +1,081

◆医農薬分野: ▲70百万円 (▲4.2%)

- ・医薬: ▲56
- ・農薬: ▲14

◆電子材料分野: +600百万円 (+25.8%)

- ・半導体関係: +120
- ・フォトレジスト: +417

◆その他: +269百万円 (+13.8%)

- ・食品飼料: +256
- ・防汚剤: ▲8

*分野別 … 総売上高を当社の判断により各分野に分類しております。



Ⅱ 2022年11月期 業績予想の修正

＜2022年11月期 業績予想の修正＞

（単位：百万円）

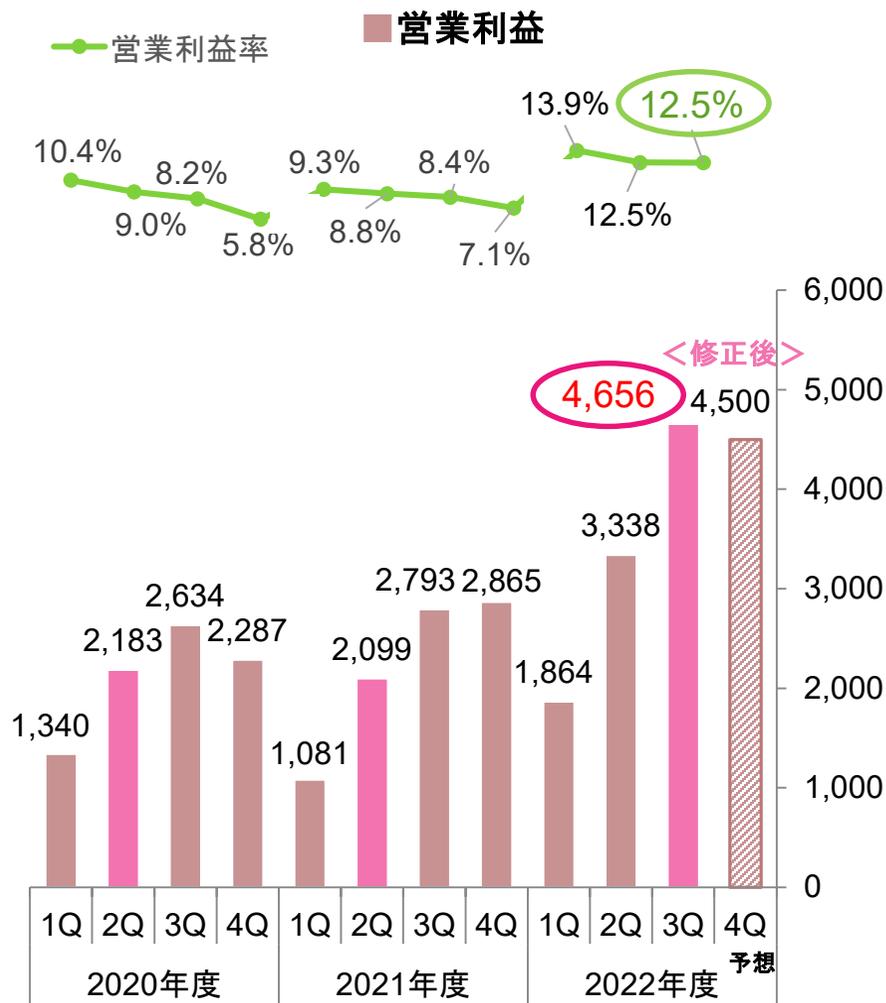
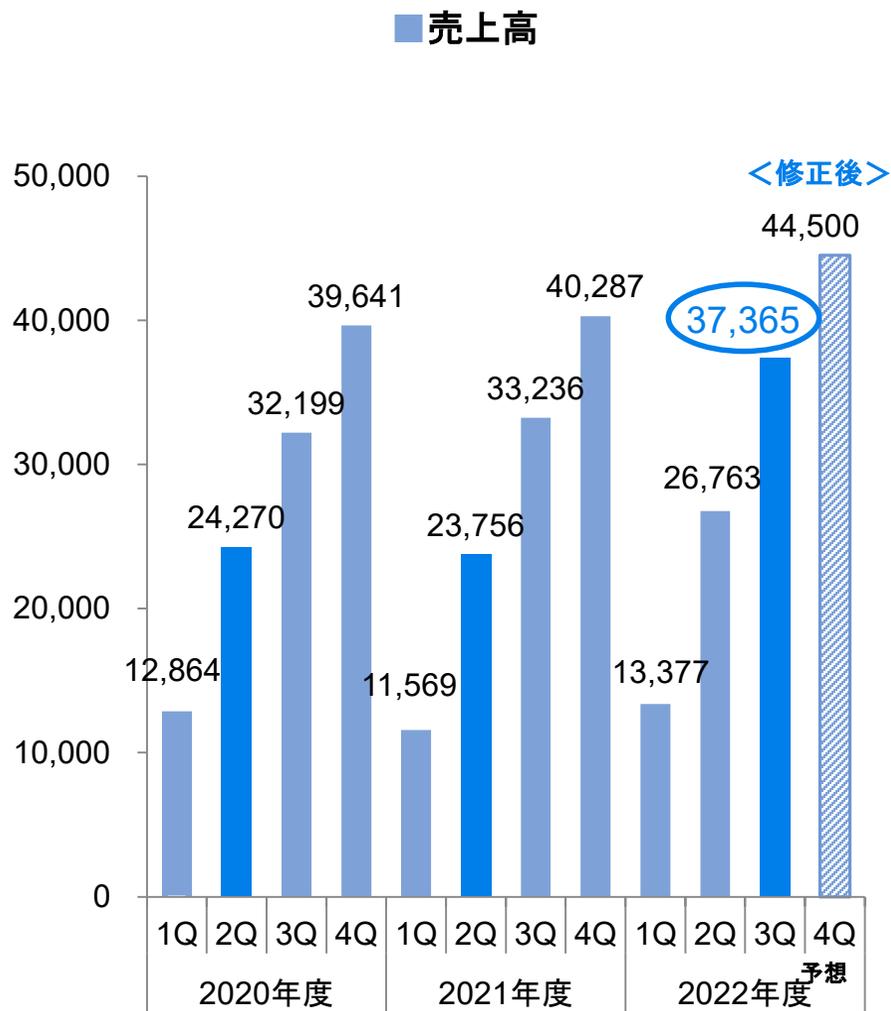
	前回 発表予想	今回 修正予想	増減額	増減率	増減要因
売上高	41,000	44,500	+3,500	+8.5%	農薬事業の堅調な推移並びに中国子会社を含めたファインケミカル事業における販売好調
営業利益	2,900	4,500	+1,600	+55.2%	運賃倉敷料および新工場稼働に伴う償却費等が増加したものの、売上高の増加により、吸収
経常利益	3,600	5,600	+2,000	+55.6%	売上高の増加および円安進行に伴う為替差益の計上
親会社に帰属する 当期純利益	2,650	3,900	+1,250	+47.2%	—

Ⅲ 【参考資料】

2022年11月期 第3四半期決算 データ編

＜①連結業績の進捗状況＞

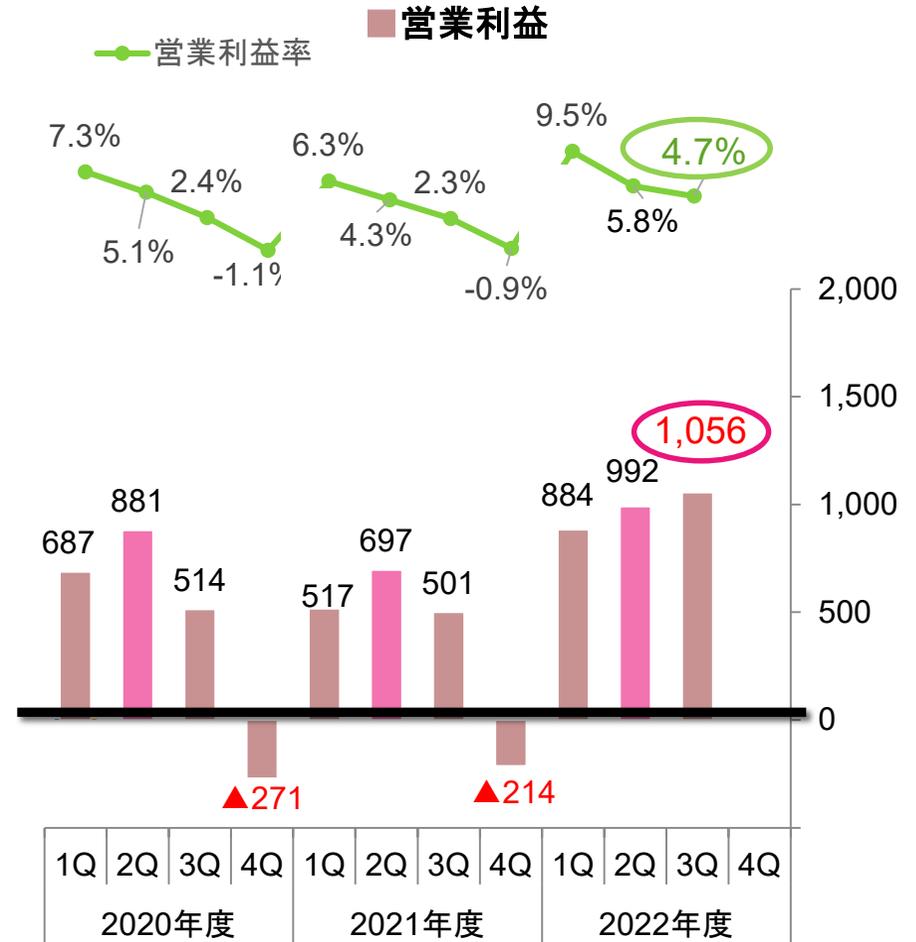
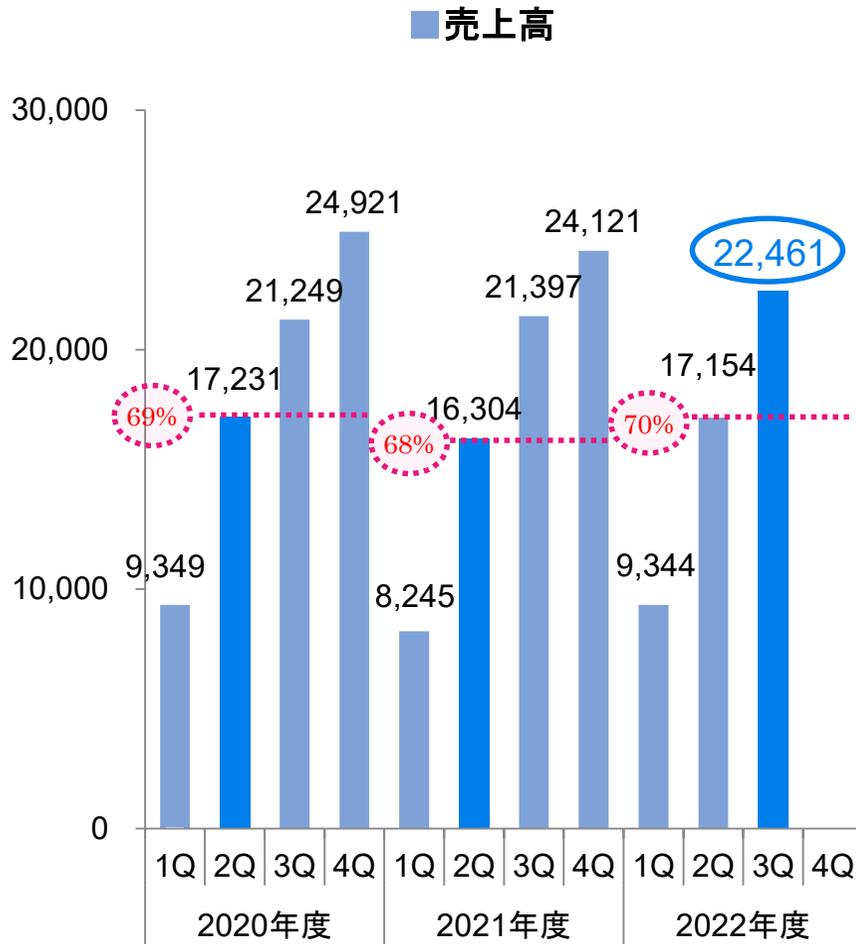
※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)



＜②連結セグメント別業績推移：農薬事業＞

※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)

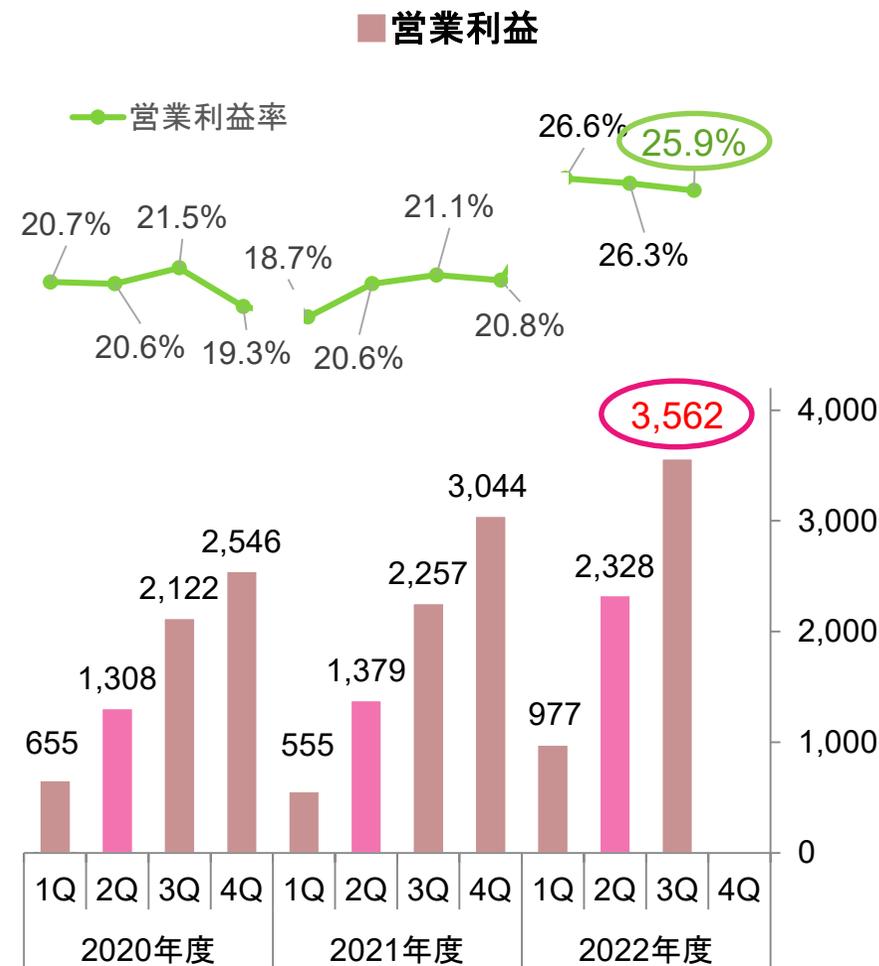
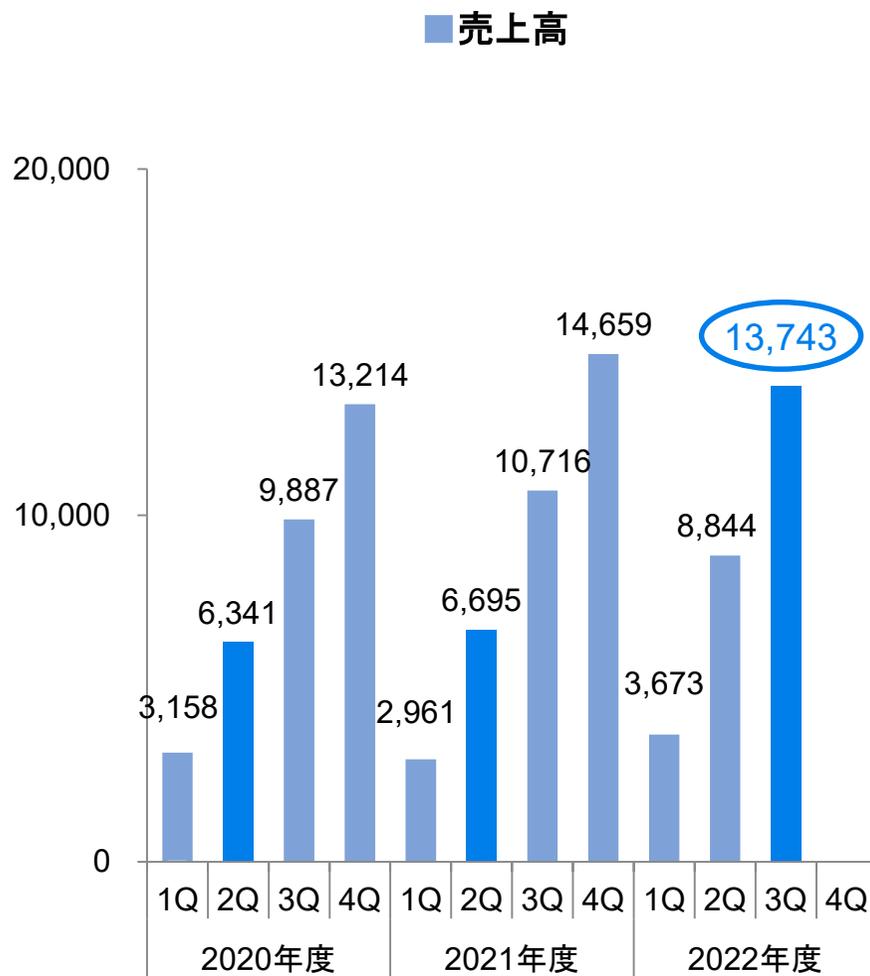
農薬の需要は季節性があるため、売上高・利益は上半期のウエイトが高くなる事業特性があります。



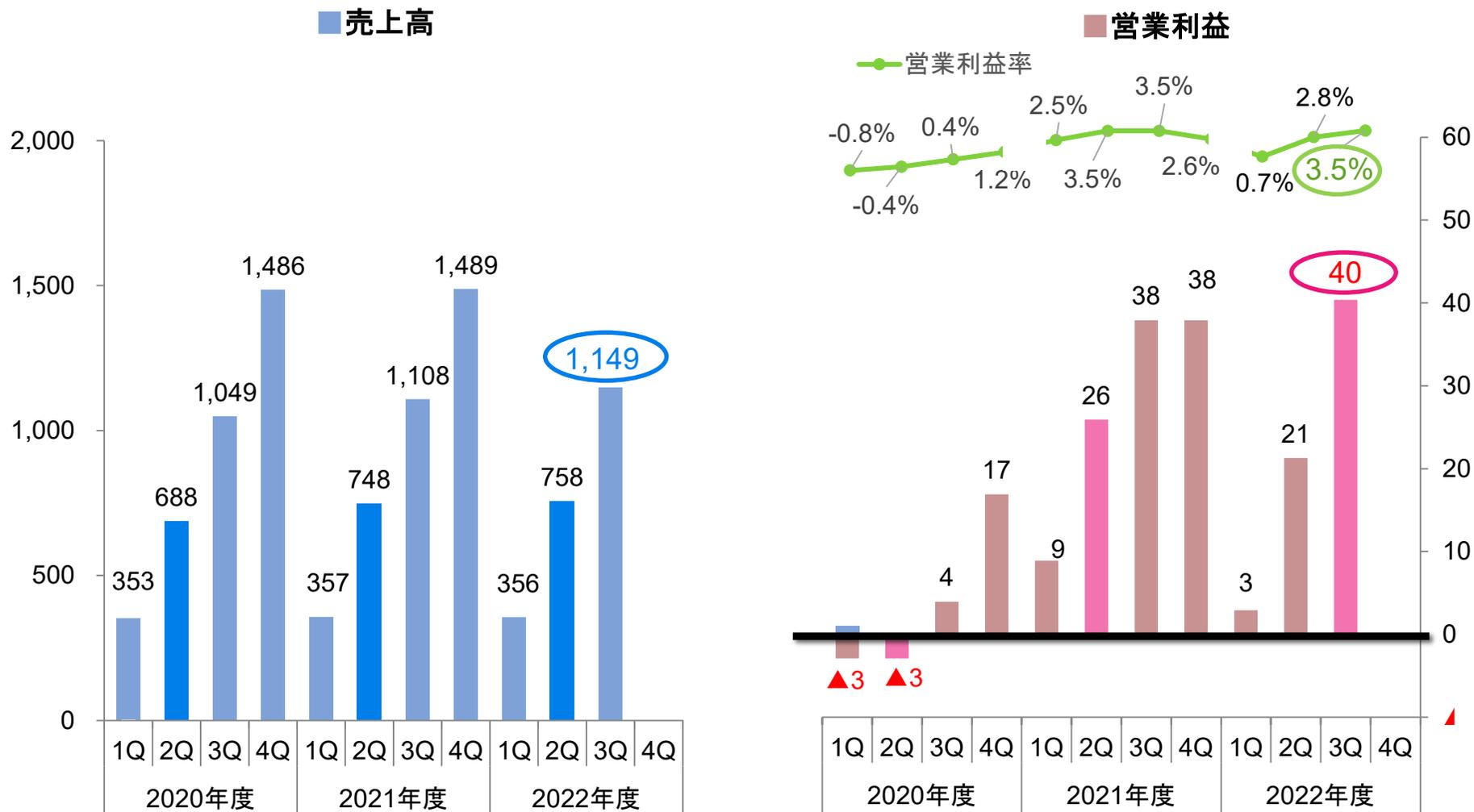
＜③連結セグメント別業績推移：ファインケミカル事業＞

※金額は各四半期時点における累計値

(単位：百万円)



＜④連結セグメント別業績推移：繊維資材事業＞ ※金額は各四半期時点における累計値
 (単位：百万円)



＜⑤連結業績予想対比の進捗状況：修正後＞

＜進捗状況＞

修正後業績予想に対する第3四半期の進捗率は、売上高・各利益段階ともに概ね前年同期と同水準となった。

〔2022年度〕

	2022年度 第3四半期	2022年度 業績予想 (修正後)	進捗率
売上高	37,365	44,500	84.0%
営業利益 (売上高比)	4,656 (12.5%)	4,500 (10.1%)	103.5%
経常利益 (売上高比)	5,426 (14.5%)	5,600 (12.6%)	96.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	3,819 (10.2%)	3,900 (8.8%)	97.9%

＜参考：前年同期＞

(単位：百万円)

	2021年度 第3四半期	2021年度 業績予想	進捗率
売上高	33,236	41,000	81.1%
営業利益 (売上高比)	2,793 (8.4%)	2,650 (6.5%)	105.4%
経常利益 (売上高比)	3,335 (10.0%)	3,350 (8.2%)	99.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	2,435 (7.3%)	2,500 (6.1%)	97.4%



＜⑥連結業績予想対比の進捗状況：修正前＞

＜進捗状況＞

修正前業績予想に対する第3四半期の進捗率は、各利益段階ともに修正前業績予想を超過した。

〔2022年度〕

	2022年度 第3四半期	2022年度 業績予想 (修正前)	進捗率
売上高	37,365	41,000	91.1%
営業利益 (売上高比)	4,656 (12.5%)	2,900 (7.1%)	160.6%
経常利益 (売上高比)	5,426 (14.5%)	3,600 (8.8%)	150.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	3,819 (10.2%)	2,650 (6.5%)	144.1%

＜参考：前年同期＞

(単位：百万円)

	2021年度 第3四半期	2021年度 業績予想	進捗率
売上高	33,236	41,000	81.1%
営業利益 (売上高比)	2,793 (8.4%)	2,650 (6.5%)	105.4%
経常利益 (売上高比)	3,335 (10.0%)	3,350 (8.2%)	99.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	2,435 (7.3%)	2,500 (6.1%)	97.4%



本資料に記載されている業績予想に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03-3279-5151

FAX：03-3279-5195